

# テニスのゲームのすすめかた

テニスのしあいは【ポイント】→【ゲーム】→【セット】→【マッチ】のじゅんにしんこうします。

## ● ポイント

ポイント	0	1	2	3	4
ひょうじ	0	15	30	40	G
よみかた	ラブ	フィフティーン	サーティー	フォーティー	ゲーム

## ● ポイントのかぞえかた

15-0	15-15	30-15	40-15	40-30	40-40	A	G
フィフティーン ラブ	フィフティーン オール	サーティー フィフティーン	フォーティー フィフティーン	フォーティー サーティー	デュース (Deuce)	アドバンテージ (Advantage)	ゲーム (Game)

- ・ さきに4ポイントをとったほうが「ゲーム」をかくとくします。
- ・ サーブをするほうからさきにかぞえます。
- ・ おたがいに3ポイントずつとってどうてんになったときは「40-40／デュース」となり、そのあと2ポイントさがつくまでゲームはおこなわれます。  
「デュースの」のつぎのポイントをとると「アドバンテージ」となり、  
「アドバンテージ」をもっているほうが、つぎのポイントをとると「ゲーム」をかくとくします。

## ● セット

- ・ 1ゲームごとにサーブけんをこうたいし、2ゲームいじょうのさをつけてさきに6ゲームとるとセットのしょうしゃとなります。
- ※ 5-5になったばあいはさきに7ゲームとるとセットのしょうしゃとなる
- ※ 6-6になったばあいはおおくのたいかいでタイブレークがさいようされていて、タイブレークのしょうしゃが7-6でセットのしょうしゃ

## ● エンドのこうたい

- ・ かくセットできすうゲーム(だい1ゲーム、だい3ゲーム、だい5ゲーム…)がしゅうりようしたらエンドをこうたいします(エンドチェンジ)。
- ・ タイブレークでは6ポイントごとにエンドをこうたいします。

## ● サービス

- ・ サーバーは、だい1ポイントはデュースサイド(コートみぎサイド)からサービスをおこない、  
だい2ポイントはアドバンテージサイド(コートひだりサイド)からサービスをこない、ゲームしゅうりようまでこれをこうごとにおこないます。
- ・ サーバーは1ポイントにつき2きゅうサービスをうつことができます。1きゅうめのサービスを「ファーストサービス」、  
2きゅうめのサービスを「セカンドサービス」とよびます。2きゅううつづけてしっばいするとあいてのポイントとなります(ダブルフォルト)。

## ● コートのラインのよびかた

サイドライン(ダブルス)

サイドライン(シングルス)		(アレー)	
センター マーク	センターサービスライン		サー ビ ス ラ イ ン

ベ  
ー  
ス  
ラ  
イ  
ン

←

テニスコートのたてのながさ(ベースラインからベースラインかん)：23.77メートル

→

テニスコートのよこのながさ：シングルス：8.23メートル・ダブルス：10.97メートル

(ダブルスコートはよこに2.74メートルひろく、そのひろくになったぶぶんを「アレー」とよぶ)

### ・ ベースライン

コートのたてほうこうのりょうはしをむすぶライン

### ・ サイドライン

コートのよこほうこうのりょうはしをむすぶライン

### ・ サービスライン

ネットのりょうがわから6.40メートルのところで、  
サイドラインとへいこうにひいたライン

### ・ サービスコート

サービスラインとネットにかこまれたエリア

### ・ サービスセンターライン

サービスコートをきんとうにわけるライン

※ ネットちゅうおうのたかさは0.914メートル、りょうはしは1.07メートル